

## 業績と財務状況

### 主要財務データ

#### 連結業績サマリー

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
連結粗利益	25,945	27,929	28,982	29,804
資金利益	13,414	13,926	14,842	15,052
役員取引等利益+信託報酬	8,254	9,100	9,871	9,996
特定取引利益+その他業務利益	4,278	4,902	4,270	4,757
営業経費	14,214	14,963	15,699	16,593
経费率	54.8%	53.6%	54.2%	55.7%
持分法による投資損益	(311)	53	102	(106)
連結業務純益	-	-	13,385	13,105
(参考)連結業務純益(旧定義)	10,139	11,662	12,424	-
与信関係費用( )は戻入益	1,213	1,731	(491)	78
株式等損益	(279)	(210)	892	667
その他	(573)	(341)	(445)	(482)
経常利益	9,356	10,737	14,323	13,212
特別損益	174	(97)	(96)	(118)
法人税等	3,113	1,460	4,588	4,414
非支配株主に帰属する当期純利益	1,231	1,240	1,285	1,144
親会社株主に帰属する当期純利益	5,185	7,941	8,354	7,536

#### 連結貸借対照表サマリー

資産の部合計	1,430,407	1,486,968	1,615,344	1,834,426
貸出金	627,206	656,321	682,277	730,682
有価証券	425,300	413,067	271,528	296,337
負債の部合計	1,357,857	1,402,536	1,525,294	1,727,463
預金	841,286	890,818	943,319	1,010,479
譲渡性預金	85,936	117,557	137,135	138,259
純資産の部合計	72,550	84,432	90,050	106,963
株主資本	50,143	56,806	64,012	70,184
利益剰余金	21,527	28,115	34,801	40,984
その他の包括利益累計額	1,961	6,646	8,780	20,039
非支配株主持分	20,439	20,968	17,240	16,717

#### 財務指標等

総自己資本比率(国際統一基準)*1	16.93%	14.71%	15.51%	16.58%
Tier1比率(国際統一基準)*1	12.28%	10.93%	12.19%	12.89%
普通株式等Tier1比率(国際統一基準)	-	9.38%	10.63%	11.30%
1株当たり配当金(円)	100	120	120	140
配当性向	26.8%	21.3%	20.3%	26.2%
ROE(株主資本ベース)	10.4%	14.8%	13.8%	11.2%

#### マーケットデータ(年度末)

日経平均株価(円)	10,084	12,398	14,828	19,207
為替レート(米ドル/円)	82.13	94.01	102.88	120.15

\*1 2011年度はバーゼルⅡの値

\*2 2020年度より割賦販売取引の会計処理を変更。2019年度について遡求処理を実施

(億円)

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度*2	2020年度
29,040	29,207	29,811	28,462	27,686	<b>28,062</b>
14,229	13,586	13,902	13,314	13,069	<b>13,352</b>
10,075	10,171	10,705	10,646	10,881	<b>10,989</b>
4,735	5,450	5,203	4,502	3,736	<b>3,721</b>
17,248	18,124	18,162	17,151	17,396	<b>17,471</b>
59.4%	62.1%	60.9%	60.3%	62.8%	<b>62.3%</b>
(362)	246	390	611	561	<b>250</b>
11,429	11,329	12,038	11,923	10,850	<b>10,840</b>
-	-	-	-	-	-
1,028	1,644	942	1,103	1,706	<b>3,605</b>
690	550	1,189	1,163	805	<b>926</b>
(1,239)	(176)	(645)	(631)	(628)	<b>(1,050)</b>
9,853	10,059	11,641	11,353	9,321	<b>7,110</b>
(51)	(266)	(553)	(117)	(434)	<b>(388)</b>
2,250	1,710	2,705	3,314	1,677	<b>1,563</b>
1,084	1,018	1,040	655	171	<b>31</b>
6,467	7,065	7,344	7,267	7,039	<b>5,128</b>
1,865,858	1,977,916	1,990,491	2,036,591	2,198,635	<b>2,425,843</b>
750,661	802,373	729,459	779,792	825,176	<b>851,327</b>
252,644	246,318	257,127	243,380	271,288	<b>365,490</b>
1,761,382	1,865,573	1,874,362	1,922,075	2,090,786	<b>2,306,853</b>
1,106,688	1,178,302	1,164,775	1,223,250	1,270,422	<b>1,420,262</b>
142,504	118,809	112,203	111,655	101,804	<b>125,706</b>
104,477	112,343	116,129	114,516	107,849	<b>118,990</b>
74,543	81,191	86,370	90,544	93,543	<b>95,134</b>
45,345	50,368	55,526	59,922	63,363	<b>64,926</b>
14,595	16,125	17,534	17,139	13,657	<b>23,131</b>
15,310	14,993	12,196	6,785	629	<b>708</b>
17.02%	16.93%	19.36%	20.76%	18.75%	<b>18.61%</b>
13.68%	14.07%	16.69%	18.19%	16.63%	<b>16.96%</b>
11.81%	12.17%	14.50%	16.37%	15.55%	<b>16.00%</b>
150	150	170	180	190	<b>190</b>
32.7%	29.9%	32.7%	34.6%	37.0%	<b>50.8%</b>
8.9%	9.1%	8.8%	8.2%	7.6%	<b>5.4%</b>
16,759	18,909	21,454	21,206	18,917	<b>29,179</b>
112.62	112.19	106.25	111.00	108.81	<b>110.71</b>

価値創造を支える経営基盤

## 業績と財務状況

### 連結業績サマリー

連結粗利益は、新型コロナウイルス感染症による減益影響があった一方、資産運用ビジネスや海外証券ビジネスが堅調に推移したほか、市場事業部門における機動的なポートフォリオ運営が奏功したこと等により、前年比376億円増益の2兆8,062億円となりました。

一方、SMBC Aviation Capital Limitedやアジア出資先でのクレジットコストの増加を主因に、持分法による投資損益が減益となったこと等から、連結業務純益は前年比ほぼ横ばいの1兆840億円となりました。

与信関係費用は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすい企業を中心にコストが発生したことに加え、将来のコスト発生に備えた予防的引当を計上したこと等から、前年比1,899億円増加の3,605億円となりました。

加えて、株式関連のリスクコントロールを目的とした先物取引における損失計上や三井住友DSアセットマネジメントののれんを減損したこと等から親会社株主純利益は前年比1,911億円減益の5,128億円となりました。

	(億円)	
	2020年度	前年比
連結粗利益	28,062	+376
営業経費	17,471	+75
持分法による投資損益	250	(311)
連結業務純益	10,840	(10)
与信関係費用	3,605	+1,899
経常利益	7,110	(2,210)
親会社株主純利益	5,128	(1,911)

### 主要グループ会社の業績 (左側:2020年度実績 右側:前年比)

	三井住友銀行		SMBC信託銀行	
業務粗利益	14,817	+697	402	(92)
経費	8,165	+84	439	(46)
業務純益	6,652	+612	(37)	(46)
当期純利益	3,380	+207	(85)	+242 <sup>*1</sup>
	SMBC日興証券 <sup>*2</sup>		三井住友カード	
業務粗利益	4,245	+636	3,856	(345)
経費	3,078	+27	3,173	(108)
業務純益	1,167	+609	687	(236)
当期純利益	926	+480	358	(24)
	SMBCコンシューマー ファイナンス		三井住友 DSアセットマネジメント <span style="background-color: yellow;">50%</span>	
業務粗利益	2,597	(147)	341	(10)
経費	1,106	(33)	323	+3
業務純益	1,491	(114)	18	(13)
当期純利益	541	(360) <sup>*3</sup>	(280)	(290) <sup>*4</sup>
	三井住友 ファイナンス&リース <sup>*5</sup> <span style="background-color: yellow;">50%</span>			
業務粗利益	1,768	+34		
経費	857	+10		
業務純益	952	+37		
当期純利益	336	(276)		

#### 三井住友フィナンシャルグループの出資比率

\*1 2019年度ののれん減損の反動

\*2 SMBC日興証券の海外持分法適用関連会社(SMFGの連結子会社)の利益を含む  
内部管理ベース

\*3 2019年度の税効果計上額増加の反動

\*4 のれん減損の計上

\*5 内部管理ベース

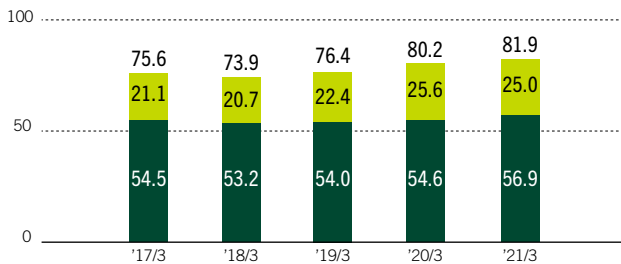
## 連結貸借対照表サマリー

### 貸出金(三井住友銀行単体)

コロナ禍におけるお客さまの資金需要の増加に対し円滑な資金供給を行った結果、国内貸出が増加したことにより、前年度末比1.7兆円増加の81.9兆円となりました。

### 貸出金末残

(兆円)



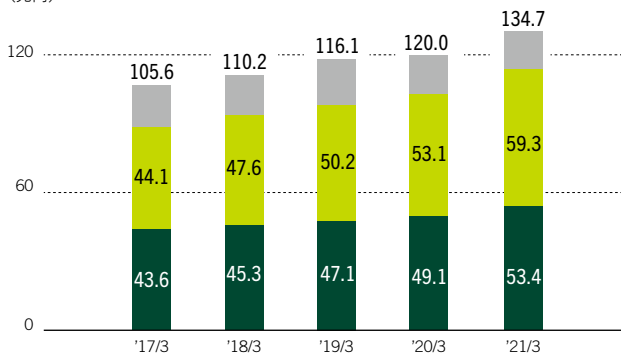
■ 国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)  
■ 海外店分および特別国際金融取引勘定分

### 預金(三井住友銀行単体)

国内において、個人預金・法人預金ともに増加し、前年度末比14.7兆円増加の134.7兆円となりました。

### 預金末残

(兆円)



■ 個人(国内) ■ 法人(国内) ■ その他

### 国内預貸金利回り差(三井住友銀行単体)

新型コロナウイルス感染症の影響により利回りの低い短期貸出金が増加したこと等から、前年比0.07%低下の0.84%となりました。

### 国内預貸金利回り差の推移

(%)

	2020年度				2019年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	年間
貸出金利回り	0.84	0.82	0.84	0.84	0.84	0.91
預金等利回り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
預貸金利回り差	0.84	0.82	0.84	0.84	0.84	0.91

### 有価証券

その他有価証券は、三井住友銀行において担保目的での国債の保有額が増加したこと等から、前年度末比9兆7,620億円増加の36兆4,112億円となりました。評価損益は株式相場の上昇を主因に、同1兆395億円増加の2兆9,318億円となりました。

### その他有価証券の評価損益

(億円)

	残高		評価損益	
	2020年度末	前年度末比	2020年度末	前年度末比
株式	36,933	+9,565	22,556	+9,861
債券	176,552	+75,878	80	(135)
その他	150,627	+12,177	6,682	+669
合計	364,112	+97,620	29,318	+10,395

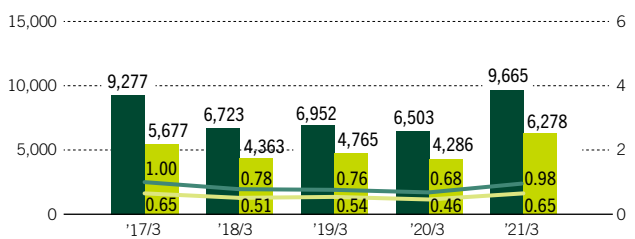
### 金融再生法開示債権

金融再生法開示債権残高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、与信先の格付が劣化したこと等から、前年度末比3,162億円増加の9,665億円となりました。また、不良債権比率は0.98%と前年度末比0.30%上昇していますが、引き続き低水準を維持しています。

### 金融再生法開示債権残高・不良債権比率

(億円)

(%)



残高: ■ 連結 ■ 三井住友銀行単体 比率: ■ 連結 ■ 三井住友銀行単体

## 業績と財務状況

### 自己資本の状況

#### 自己資本額

最も重要な中核的自己資本を表す普通株式等Tier1資本は利益の蓄積や株式相場の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加を主因に、前年度末比9,815億円増加の10兆5,628億円となりました。この結果、Tier1資本は同9,494億円増加の11兆1,993億円、総自己資本は同7,373億円増加の12兆2,893億円となりました。

#### リスクアセット

新型コロナウイルス感染症の影響により国内貸出が増加したこと等から、リスクアセットは前年度末比4兆4,089億円増加の66兆80億円となりました。

#### 自己資本比率

上記の結果、普通株式等Tier1比率は16.00%、総自己資本比率は18.61%となりました。いずれも規制に定める基準値を上回っており、十分な水準を維持しています。

#### レバレッジ比率

Tier1資本が増加したほか、レバレッジ比率規制に関する金融庁告示の一部改正に伴い、日本銀行に対する預け金が総エクスポージャーから控除されたこと等により、レバレッジ比率は前年度末比1.34%上昇の5.65%となりました。

#### 外部TLAC比率

自己資本の充実に加えて、海外の社債市場を中心とした外部TLAC適格債券の調達により、外部TLAC資本の充実に努めています。外部TLAC比率はリスクアセットベースで25.82%、総エクスポージャーベースで9.77%と、ともに所要水準を満たしています。

#### 連結自己資本比率(国際統一基準)の状況

(億円)

	2020年度末	2019年度末	前年度末比
普通株式等Tier1資本	105,628	95,813	+9,815
その他Tier1資本	6,365	6,686	(321)
Tier1資本	111,993	102,499	+9,494
Tier2資本	10,900	13,021	(2,121)
総自己資本	122,893	115,520	+7,373
リスクアセット	660,080	615,991	+44,089
普通株式等Tier1比率	16.00%	15.55%	+0.45%
Tier1比率	16.96%	16.63%	+0.33%
総自己資本比率	18.61%	18.75%	(0.14)%

#### レバレッジ比率

レバレッジ比率	5.65%	4.31%	+1.34%
---------	-------	-------	--------

#### 外部TLAC比率

リスクアセットベース	25.82%	25.96%	(0.14)%
総エクスポージャーベース	9.77%	7.64%	+2.13%

#### 総エクスポージャー

総エクスポージャー*	1,981,708	2,374,887	(393,179)
------------	-----------	-----------	-----------

\* 2020年度末は日本銀行に対する預け金を控除